令和7年9月定例駐在員会 要旨

令和7年9月27日

○町長あいさつ

日頃から地域と行政とのつなぎ役としてご尽力を頂いており感謝を申し上げる。これから 秋・冬にかけて集落行事が連日のように行われる。暑い中、大変でしょうが健康には留意し て頂き、集落の活性化にご尽力を賜りたい。先日開催された敬老会に参加させてもらった。 集落住民が和気あいあいとした雰囲気で高齢者の皆さんを祝福しており、支えあいのまち 龍郷を感じた。昨日は龍北中の運動会に参加した。学校というよりは地域の運動会という雰 囲気で盛り上がっていた。今後も小学校と中学校とのつながりを大事にして、子どもたちの 健全な成長を見守って頂きたい。

○副町長あいさつ

各集落の敬老会に参加させて頂き感謝を申し上げる。また、昨日の龍北中学校の運動会にはスタートから最後の八月踊りまで参加させてもらった。10/5 は各小学校の運動会が予定されており、教育委員会と分散して回らせていただくのでよろしくお願い申し上げる。10/12(日)は関西龍郷会の総会が予定されており、町長と議長が出席する予定である。秋名・幾里・嘉渡の敬老会は私と副議長のコンビで参加させていただく。

10/19 は町民体育大会がありますので、各集落で練習に励んでいただければと思う。昼休みに大高応援団(笠龍地区)の演舞が披露される。

○各課等からの伝達事項

1. プレミアム商品券について (商工会・企画観光課)

10/18(土)から販売を開始する。休日の販売は18日と19日のみ。販売場所は商工会となっている。今年度からプレミアム率が10%から20%に引き上げられた。10,000で購入した商品券で12,000円分の買い物ができる。購入できるのは18歳以上の龍郷町民のみ。3冊まで。購入の際には身分証明書の提示が必要。不明な点は商工会まで。時間は9時から午後6時まで。

2. カーブミラー設置要望について (総務課)

区長さん宛てに文書を送付したカーブミラー設置要望について、提出期限が明後日までとなっている。手元に文書がない場合は総務課まで。例年予算に限りがあるため、要望された全箇所に設置できない可能性がある。

3. 戦後80周年巡回展について(教育委員会事務局)

今年度4月から文化財を担当している向田と申します。今年は戦後80周年を記念して巡回展を実施している。10/18 から 1 か月程度りゅうがく館の展示室の手前で実施する。入場無料。奄

美の戦争被害は空襲が中心。どこで空襲があったかを表示してする地図が展示される。 全戸にチラシを配布している。周知をお願いしたい。

4. 文化財保護審議会委員の候補者推薦について (教育委員会事務局)

文化財保護審議会というのが各自治体に置かれている。文化財に関する専門的な知識を持った方たちで組織され、必ず設置することになっている。町指定文化財というのがあるが、町が勝手に指定するものではなく、審議会に諮って承認されれば指定される。現在3名の審議会委員がおり、規程では8名まで置くことができる。文化財に関する学識のある方の情報を教育委員会事務局まで頂きたい。分野は幅広く、遺跡とかだけでなく、伝統文化、希少動植物など。それぞれの分野で経験と知識を持っている方を教えていただきたい。

年2回、6月と1月に会議があり、研修や防火訓練などを行っている。その間に突発的に文化 財保護の必要性があることについて審議を行っている。

○地域おこし協力隊活動報告

川崎隊員

・出張のため欠席

竹内隊員

- 1. 大勝集落「シマ暮らしお助け帳」大学生と共同作成(9/11~17)
 - ・関西から大学生3名が来島。宿泊先は教育民泊の受け入れ家庭2軒。
 - ・明区長さんをはじめ地域の方(5~6人)にご協力頂きヒアリング調査を実施。
 - ・9/14 に大勝で開催された敬老会にも準備から参加。
 - 集落中を歩き回り「大勝集落たんけんマップ」を作成。

2. 出張移住相談会@東京(9/6)・東京龍郷会で空き家の啓発活動(9/7)

- ・「ふるさと回帰支援センター東京」で3組の移住希望者からの相談に対応。事前予約制としたがすぐに予約枠が埋まり、龍郷町の人気の高さと相談会のニーズがあることに驚いた。
- ・東京龍郷会ではリフォーム補助制度や解体補助制度についての説明、空き家の相談窓口について紹介した。今回が3回目の出席。応援して下さる方が増えたなと実感した。郷友会でつながったご縁を今後も大切にしたい。

3. 令和7年度第1回空き家対策協議会

・令和6年度の空き家調査結果を踏まえ、特定空き家3軒(浦2軒、円1軒)、管理不全空き家9軒を新たに認定。所有者への啓発・指導を引き続き実施する。

○移住定住カウンセラー活動報告

谷カウンセラー

1. 「住もうディ!」への相談件数 (8/26~9/25)

移住・住まい探しについての相談 14件 空き家活用についての相談 0件 空き家解体についての相談 1件

2. JAL 二地域居住推進事業スタート(対象期間:10月から翌2月)

都市と地方に拠点を持ち、定期的に行き来しながら暮らす新たなライフスタイルへの関心が高まっています。 龍郷町では将来的に龍郷町への移住を考えておられる方に移住のお試しとして体験してもらうため、「JAL ふるさとむすび」事業に参画しました。

現在島外に居住し、将来的に龍郷町への移住を希望している方が対象で、移住のお試しとして二地域居住を体験してもらうため、「JAL ふるさとむすび」事業に参画しました。町内の宿泊施設に2週間以上宿泊することや、滞在中は担当職員からのインタビューを受けたり、ボランティア活動や行事を通じて地域の方々と交流することが条件となっており、応募者と事前の面談で条件を確認します。9月12日の応募開始より多数の応募があり、現在参加者を選定中です。

3. かごしまワーケーション実施支援事業

ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を組み合わせ、心身のリフレッシュと生産性の向上を目指す新しい旅のスタイルです。ワーケーションの受け入れ側のメリットは

- ①オフシーズン中の宿泊・飲食などの消費増加
- ②企業と地域の連携による産業創出の機会
- ③関係人口の増大、将来的に移住定住につながる可能性

龍郷町は大和村・奄美市とともに 11 月 18 日から 3 泊 4 日の大島モニターツアーを実施 予定で 9 月 3 日企業向けにプレゼンを実施し、定員数 5 社の参加が決まりました。